

DIAM世界6資産バランスファンド

<愛称：フルコース>

追加型投信／内外／資産複合

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、実質的に国内外の株式、債券および不動産投資信託証券に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2021年5月11日～2021年11月8日

第87期	決算日：2021年7月8日	
第88期	決算日：2021年9月8日	
第89期	決算日：2021年11月8日	
第89期末 (2021年11月8日)	基準価額	11,104円
	純資産総額	1,357百万円
第87期～ 第89期	騰落率	4.4%
	分配金合計	75円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角) はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

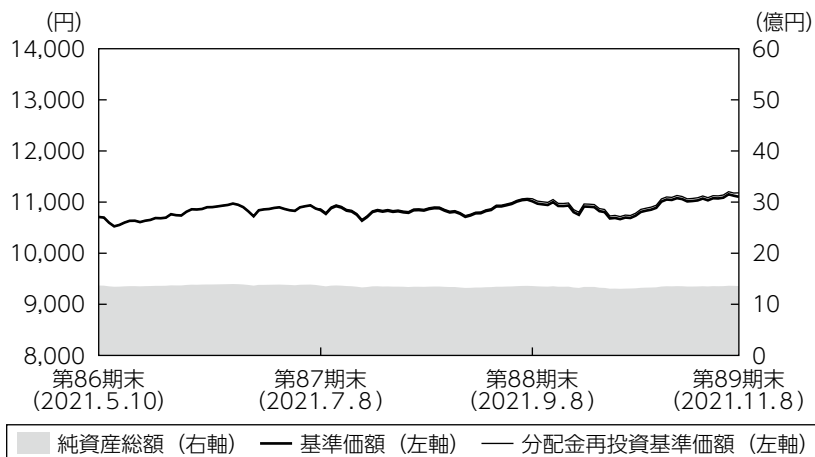
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第87期首：10,709円
 第89期末：11,104円
 (既払分配金75円)
 騰落率：4.4%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

各国の中央銀行による緩和的な金融政策の見直しを見込む動き等から下落する局面も見られたものの、新型コロナウイルス経口薬の開発進展や堅調な企業決算等を受けて世界的に株式市場とリート市場が上昇したこと等がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
国内債券アクティブ・マザーファンド	0.3%
高金利ソブリン・マザーファンド	△1.2%
ジャパン・セレクトション・マザーファンド	8.1%
D I A M世界好配当株オープン・マザーファンド	6.0%
J-R E I Tオープン・アクティブ・マザーファンド	3.8%
D I A M U S・リート・オープン・マザーファンド	20.0%
D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド	14.3%

1万口当たりの費用明細

項目	第87期～第89期		項目の概要
	(2021年5月11日～2021年11月8日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	85円	0.781%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,855円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(32)	(0.299)	
(販売会社)	(49)	(0.450)	
(受託会社)	(4)	(0.033)	
(b) 売買委託手数料	1	0.011	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(1)	(0.008)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.002)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	1	0.009	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	(1)	(0.007)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	87	0.803	

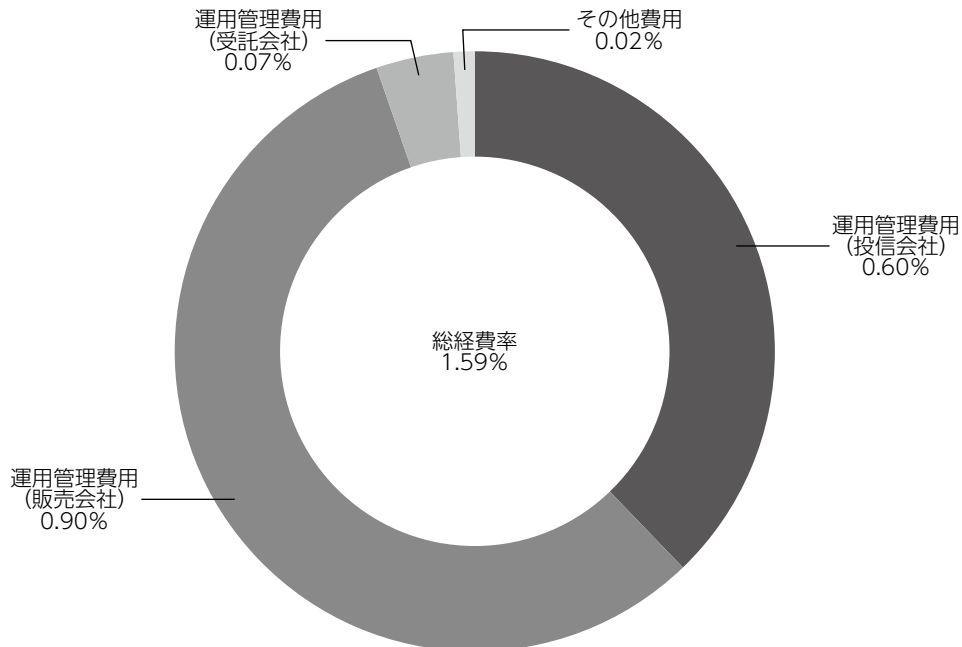
(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)**◆総経費率**

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.59%です。



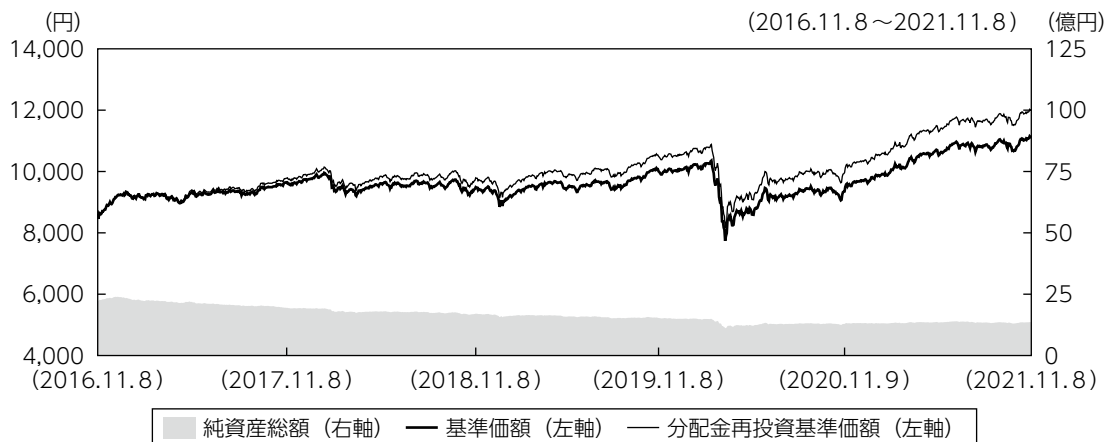
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2016年11月8日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2016年11月8日 期首	2017年11月8日 決算日	2018年11月8日 決算日	2019年11月8日 決算日	2020年11月9日 決算日	2021年11月8日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	8,607	9,628	9,489	10,005	9,351	11,104
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	150	150	150	150	150
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	13.7	0.1	7.1	△5.0	20.4
純資産総額	(百万円)	2,266	1,941	1,704	1,530	1,288	1,357

(注) 当ファンドは、国内外の株式、債券および不動産投資信託証券（リート）に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用しております。上記資産を組み合わせた適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

投資環境

国内債券市場では、長期金利（10年国債利回り）は、2021年8月にかけて変異株の影響で新型コロナウイルスの感染が再拡大し、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出がなされ、景気への悪影響が懸念されたことなどから低下基調で推移し、一時0%まで低下しました。しかしその後、10月下旬にかけて感染者数の減少傾向や欧米金利の上昇基調などから一時0.105%まで反発し、作成期末は0.055%となりました。

外国債券市場では、当ファンドが主に投資する残存年数5年程度の国債利回りは上昇（価格は下落）しました。新型コロナウイルスのデルタ変異株の感染拡大から景気回復に対する懸念が強まったことが、利回りの低下要因（価格は上昇）となったものの、新型コロナウイルスのワクチン接種の効果などから死者数は抑制され、コロナ禍からの経済回復と中央銀行による緩和的な金融政策の段階的な解除が見込まれたこと、エネルギー価格の上昇などから高インフレの長期化懸念が強まったことを背景に利回りは上昇しました。

国内株式市場は、作成期初から2021年8月後半までは、新型コロナウイルスのワクチン普及に対する期待と、変異株の感染拡大による経済活動停滞への懸念が交錯して上値の重い展開が続きましたが、9月中旬にかけて首相交代にともなう政策期待の高まりなどから上値を切り上げる展開となりました。その後中国不動産大手の信用懸念や世界的なインフレ懸念などから売られる場面もありましたが、作成期末にかけて国内の新規感染者数の減少などを手掛かりに再び戻りを試しました。

外国株式市場は上昇しました。作成期初から2021年8月にかけては新型コロナウイルス変異株の感染拡大などから一時的に調整する局面が見られつつも、米欧企業の好決算や金融緩和継続の観測の高まりから上昇基調で推移しました。9月はFOMC（米連邦公開市場委員会）のタカ派化への警戒感や中国不動産大手を巡る懸念から下落しましたが、10月以降は新型コロナウイルス経口薬の開発進展や堅調な企業決算などから再び上昇しました。

国内リート市場は上昇しました。2021年7月上旬にかけては、米国長期金利の低下や、新型コロナウイルスに対するワクチンの接種進展により投資家心理が改善し、堅調に推移しました。その後は、増資による需給悪化への警戒感や、中国の不動産大手である中国恒大集団の巨額債務問題に対する懸念等を背景に、上値の重い展開となりました。

米国リート市場は大きく上昇しました。テーパリング（量的金融緩和の段階的縮小）の開始時期について不透明感が広がったことや、新型コロナウイルスのデルタ株の感染再拡大による米国景気の鈍化懸念などの悪材料はあったものの、良好な経済指標の発表や企業の好決算を受けて米国株式市場が高値を更新する中、リートにも資金が流入しました。セクター別では、倉庫リートや工業リートなどが大きく上昇しました。

米国以外の海外リート市場は、一部地域を除き上昇しました。欧州市場は、経済指標の改善を背景に上昇しましたが、新型コロナウイルスの感染再拡大やインフレ懸念の高まりから、上値はやや抑えられました。アジア市場では、経済正常化への期待を背景にシンガポールで上昇した一方、中国不動産開発大手の信用不安が重しとなり、香港では下落しました。オーストラリア市場は、好調な経済指標の発表が続いたことや資源価格の上昇などが支援材料となり上昇しました。

為替市場ではまちまちの動きとなりました。ドル／円相場は、F R B（米連邦準備理事会）による緩和的な金融政策の早期見直しに対する思惑から、作成期末にかけて円安ドル高が進みました。その他主要通貨では、長期金利が上昇し内外金利差が拡大したイギリスポンドやカナダドルなどに対して円安に振れた一方、利上げ観測の後退したポーランドズロチ等に対しては円高現地通貨安に振れました。

■ ポートフォリオについて

● 当ファンド

マザーファンドを通じて国内外の株式、債券およびリートの6資産に投資を行いました。また、組入れる6資産の保有比率が均等となるように資産配分を行いました。

● 国内債券アクティブ・マザーファンド

デュレーション*戦略は、超長期ゾーンをアンダーウェイトとするデュレーション短期化戦略を中心に継続しました。クレジット戦略では、高めの利回り収益が期待できる事業債を多めに保有する戦略を維持しました。

*金利変動に対する債券価格の変動性。

● 高金利ソブリン・マザーファンド

コロナ禍からの経済回復が見込まれる中、投資国の中央銀行は緩和的な金融政策の解除に向かい、資源価格は堅調に推移すると予想しました。こうした見通しの下、資源価格との連動性が高く、中央銀行が早期に緩和解除を示唆したノルウェーやニュージーランドの投資比率を高めとする戦略を基本としました。また、米ドルについては、同国の経済動向や中央銀行の見通し、市場のリスク選好度などを勘案し、投資比率を機動的に変更しました。

● ジャパン・セレクション・マザーファンド

業績見通しが低下した銘柄や目先の株価上昇の材料に欠ける銘柄、株価上昇により割安感が後退した銘柄などのウェイトを引き下げた一方で、新型コロナウイルス影響緩和により業績回復が期待される銘柄やバリュエーションの割安な銘柄のウェイト引き上げなどを実施しました。以上の結果、陸運業、銀行業、輸送用機器などの比率を引き上げた一方、電気機器、サービス業、機械などの比率を引き下げました。

● D I AM世界好配当株オープン・マザーファンド

銘柄選択においては、「地域の分散」、「業種の分散」に着目し、世界の好配当株への投資を通じて、安定した配当収益の確保と中長期的な値上がり益の確保をめざした運用を行いました。地域別では、概ね前作成期末と同程度の資産配分を維持しました。業種別では、幅広い業種に分散投資を行う中、金融やヘルスケアセクターに対する高めの投資比率を継続しました。

● J-R E I Tオープン・アクティブ・マザーファンド

相対的に割安な銘柄や業績安定感がある銘柄を中心に運用を行いました。当作成期間については、オフィス銘柄や物流施設銘柄の一部売却などを実施しました。

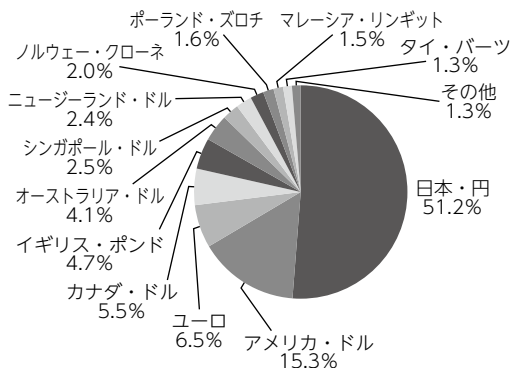
● D I A M US・リート・オープン・マザーファンド

適正価格に到達したと見られる銘柄については、適宜入れ替えを行いました。また、米国景気の先行きや金利の動向も注視しつつ、保守的な財務体質かつ長期的に見て成長見込みがある銘柄や、割安な水準にある銘柄を選別して投資しました。その他（データセンター、倉庫等）などの組入比率を引き上げた一方、小売りやオフィスなどの組入比率を引き下げました。

● D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド

保守的な財務体質かつ配当成長の見込めるキャッシュフローの安定した銘柄を選別して投資を行いました。また、適正価格に到達した銘柄は適宜入れ替えを行いました。地域別では、オーストラリアやカナダなどの組入比率を引き上げた一方、シンガポールや香港などの組入比率を引き下げました。また、用途別では、工業などの組入比率を引き上げた一方、小売りなどの組入比率を引き下げました。

○通貨別構成比



(注1) 組入比率は当ファンドが実質的に投資している有価証券評価額に対する割合です。

(注2) 比率が1.0%未満の通貨については、合計して「その他」として表示しております。

分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第87期	第88期	第89期
	2021年5月11日 ～2021年7月8日	2021年7月9日 ～2021年9月8日	2021年9月9日 ～2021年11月8日
当期分配金（税引前）	25円	25円	25円
対基準価額比率	0.23%	0.23%	0.22%
当期の収益	25円	25円	25円
当期の収益以外	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	926円	1,100円	1,189円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、各資産の保有比率が均等になるように各マザーファンドへの投資を実施します。マザーファンドの組入比率につきましては、高位での組入れを維持します。

●国内債券アクティブ・マザーファンド

新型コロナウイルスのワクチン接種の進展により、経済活動の回復期待が高まっていること、金融政策の正常化見通しにより欧米金利もやや上昇傾向にあることから、当面の長期金利（10年国債利回り）は作成期末よりやや高め0.10%を中心としたレンジ圏での推移を予想しています。デュレーション戦略は、引き続き機動的なコントロールを継続します。クレジット戦略は、引き続き高い利回りが期待できる事業債を多めに保有する戦略を継続する方針です。

●高金利ソブリン・マザーファンド

新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念は残るものの、ワクチン接種の進展などから、世界経済の回復は続くと考えています。債券市場では、世界経済の回復進展と中央銀行による緩和解除の見通し、物価動向などが利回りの変動要因になると見ています。今後も一定以上の信用格付けを有する国の中から、債券・為替市場の流動性、投資規制、市場規模等を勘案し、相対的に金利の高い通貨を選定し、各国の財政状況やファンダメンタルズ、インフレリスクを注視した運用を継続します。

● ジャパン・セレクション・マザーファンド

今後の国内株式市場は、世界的なインフレ懸念や米長期金利の動向、中国経済の不透明感などを背景に不安定な相場展開となる可能性も想定されますが、新型コロナウイルスのワクチン普及や治療薬開発による経済正常化への期待に支えられ、堅調に推移するものと予想します。引き続き、物色動向の変化に対応しながら、個別企業の競争力や成長性といったファンダメンタルズと株価バリュエーションを総合的に判断して銘柄を選別していく方針です。

● D I A M世界好配当株オープン・マザーファンド

今後の外国株式市場は、米中景気の回復ペース鈍化やインフレ過熱などがリスク要因となりつつも、世界的に潤沢な流動性や経済正常化への期待に支えられて、底堅く推移すると予想します。運用方針としては、配当利回りが市場平均以上であり、利益およびキャッシュフローの成長性が高く、将来的にも十分な配当が期待できる銘柄への選別投資を継続します。

● J-R E I Tオープン・アクティブ・マザーファンド

引き続き新型コロナウイルスの動向には注意が必要ですが、世界的な経済活動再開への期待が高まりつつある状況です。安定的な業績や健全な財務体質などが評価され、国内リート市場の底堅い展開を想定しています。純資産価値やその創出するキャッシュフローをベースにした価値から判断して割安感の強い銘柄を中心に保有する方針です。

● D I A M US・リート・オープン・マザーファンド

経済の正常化が着実に進む一方で、依然として高水準の新型コロナウイルス感染者数、インフレの進行などが懸念材料となっており、米国リート市場は神経質な展開が予想されます。引き続き財務体質が良好で、長期的な成長が期待できる銘柄を選別して投資する方針です。また、割安な水準にある銘柄にも投資することにより、比較的高い配当利回りを維持できるポートフォリオを構築していきます。

● D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド

世界的なインフレの進行や金利上昇に対する警戒感から、リート市場はやや不安定な展開も予想されます。こうした中、欧州市場は、物流をはじめ、安定したキャッシュフローが期待しやすい銘柄に重点的に投資を行っていく方針です。オーストラリア市場は、倉庫や物流、オフィス、小売り等のうち財務体質や成長性、配当利回りといった点に優れる銘柄を選別し投資する方針です。アジア市場は、物流など構造的な成長要因があるセクターに投資を行っていく方針です。

お知らせ

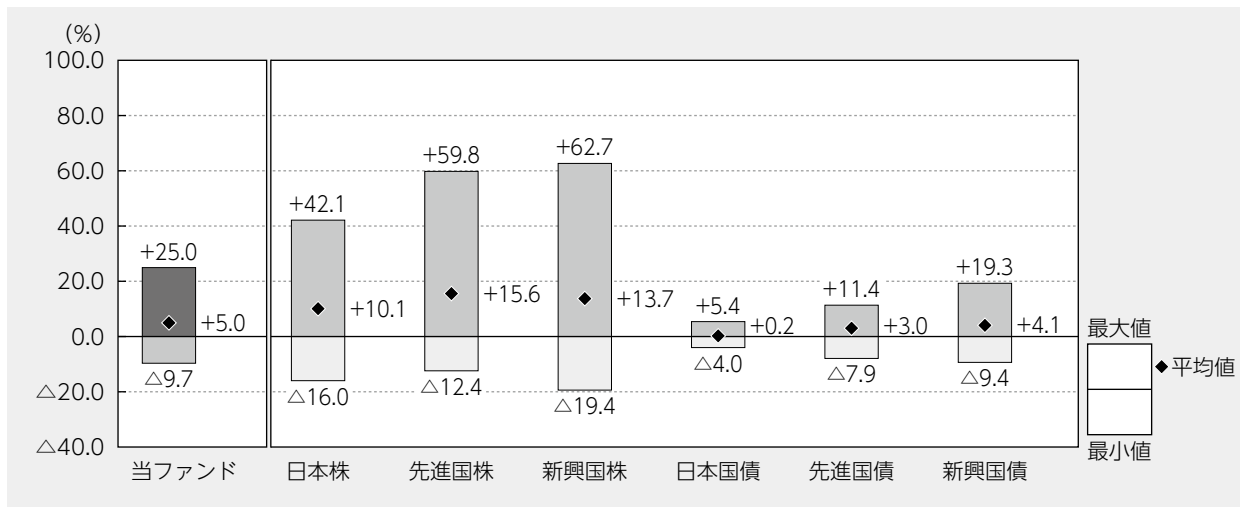
- 当ファンドが投資対象とする「高金利ソブリン・マザーファンド」において、Asset Management One International Ltd.に委託していた運用の指図に関する権限をアセットマネジメントOne株式会社に移管することに伴い、約款に所要の変更を行いました。

(2021年8月11日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2006年12月15日から無期限です。	
運用方針	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に国内外の株式、債券および不動産投資信託証券に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。	
主要投資対象	D I A M世界6資産 バランスファンド	以下の各マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	国内債券アクティブ・ マザーファンド	国債、国内企業の発行による普通社債、転換社債等を主要投資対象とします。
	高金利ソブリン・ マザーファンド	高金利国のソブリン債券を主要投資対象とします。
	ジャパン・セレクション・ マザーファンド	わが国の株式を主要投資対象とします。
	D I A M世界好配当株 オープン・マザーファンド	日本を除く世界各国の株式を主要投資対象とします。
	J-R E I Tオープン・ アクティブ・マザーファンド	東京証券取引所に上場し、東証R E I T指数に採用されている（または採用予定の）不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	D I A M U S・リート・ オープン・マザーファンド	米国の証券取引所に上場もしくは上場に準ずる不動産投信等の投資信託証券を主要投資対象とします。
	D I A M インターナショナル・ リート・インカム・ オープン・マザーファンド	米国および日本を除く世界各国の証券取引所に上場もしくは上場に準ずる不動産投信等の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	<p>各マザーファンド受益証券への投資を通じ、国内外の株式、債券、不動産投資信託証券の計6資産への分散投資を行います。</p> <p>各マザーファンド受益証券の組入比率については、均等割合を基本資産配分比率として投資します。ただし、国外の不動産投資信託証券へ投資するマザーファンドについては、各マザーファンドの純資産総額を合算して資産配分を算出します。</p> <p>各マザーファンド受益証券の時価の変動等により各マザーファンドの純資産総額が基本資産配分比率から一定量以上乖離した場合には、各マザーファンド受益証券への投資割合を基本資産配分比率に近づけることとします。</p> <p>外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジは行いません。</p>	
分配方針	<p>決算日（原則として、奇数月の各8日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子、配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。原則として、利子、配当等収益を中心に安定した分配を行い、売買益（評価益を含みます。）等については決算時の基準価額水準を勘案して分配を行うことをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないことがあります。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2016年11月～2021年10月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2021年11月8日現在）

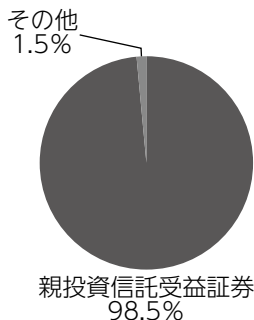
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：7ファンド)

	第89期末
	2021年11月8日
国内債券アクティブ・マザーファンド	17.5%
D I A M世界好配当株オープン・マザーファンド	17.0
ジャパン・セレクション・マザーファンド	16.8
J-R E I Tオープン・アクティブ・マザーファンド	16.5
高金利ソブリン・マザーファンド	15.7
D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド	9.1
D I A M U S・リート・オープン・マザーファンド	5.9
その他	1.5

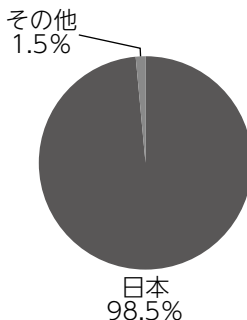
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

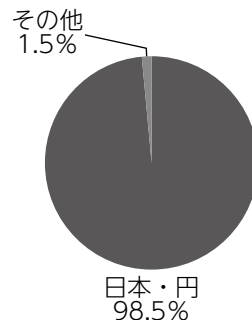
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

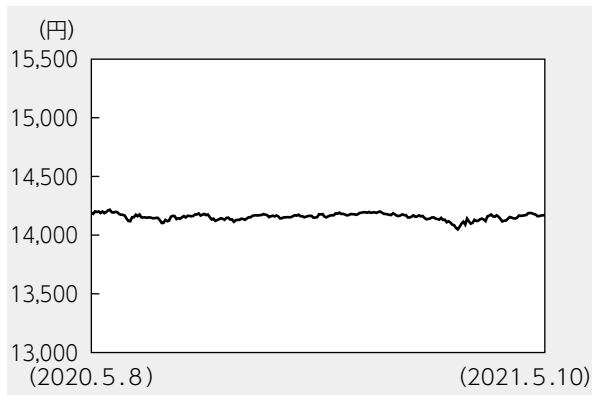
項目	第87期末	第88期末	第89期末
	2021年7月8日	2021年9月8日	2021年11月8日
純資産総額	1,364,287,352円	1,356,831,865円	1,357,746,237円
受益権総口数	1,258,365,287口	1,231,763,888口	1,222,751,200口
1万口当たり基準価額	10,842円	11,015円	11,104円

(注) 当作成期間（第87期～第89期）中における追加設定元本額は5,250,846円、同解約元本額は58,687,276円です。

組入ファンドの概要

【国内債券アクティブ・マザーファンド】（計算期間 2020年5月9日～2021年5月10日）

◆基準価額の推移



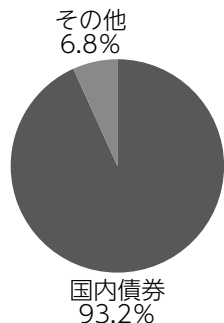
◆組入上位10銘柄（現物）

銘柄名	通貨	比率
354回 利付国庫債券（10年）	日本・円	6.0%
142回 利付国庫債券（5年）	日本・円	6.0
475回 東北電力社債	日本・円	5.8
421回 利付国庫債券（2年）	日本・円	5.7
482回 九州電力社債	日本・円	5.7
355回 利付国庫債券（10年）	日本・円	5.2
154回 利付国庫債券（20年）	日本・円	5.1
140回 利付国庫債券（20年）	日本・円	5.0
360回 利付国庫債券（10年）	日本・円	4.8
359回 利付国庫債券（10年）	日本・円	4.6
組入銘柄数	36銘柄	

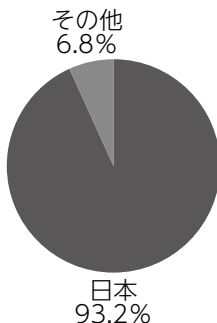
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

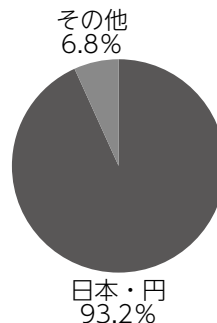
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

（注2）組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

（注3）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

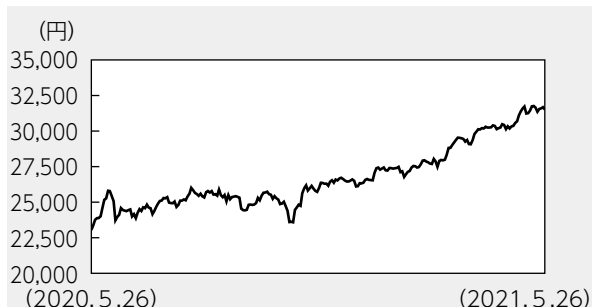
（注4）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

（注5）計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[DIAM世界好配当株オープン・マザーファンド]

(計算期間 2020年5月27日～2021年5月26日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

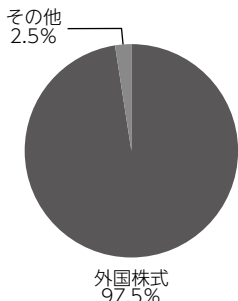
銘柄名	通貨	比率
DEUTSCHE POST AG-REG	ユーロ	3.4%
MCDONALD'S CORPORATION	アメリカ・ドル	2.9
AXA SA	ユーロ	2.8
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	2.6
METLIFE INC	アメリカ・ドル	2.5
CISCO SYSTEMS INC	アメリカ・ドル	2.5
ALLIANZ SE	ユーロ	2.3
DEUTSCHE TELEKOM AG-REG	ユーロ	2.3
RIO TINTO PLC	イギリス・ポンド	2.3
ABBVIE INC	アメリカ・ドル	2.3
組入銘柄数	82銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

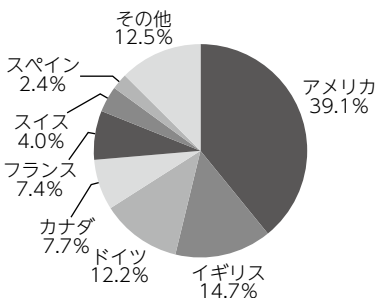
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	11円 (11)	0.041% (0.041)
(b) 有価証券取引税 (株式)	3 (3)	0.013 (0.013)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	4 (4) (0)	0.017 (0.015) (0.001)
合計	19	0.071

期中の平均基準価額は26,747円です。

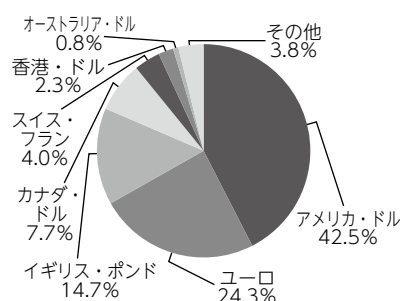
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。

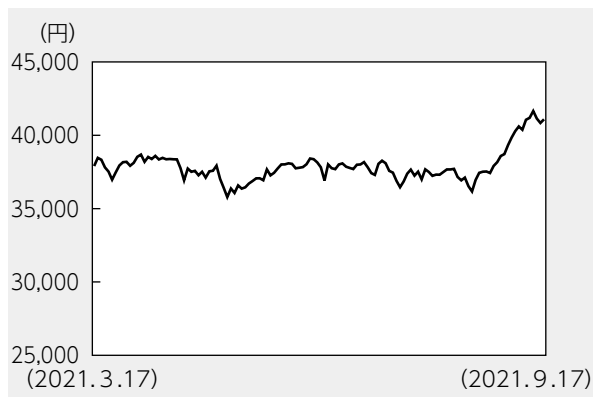
(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【ジャパン・セレクション・マザーファンド】（計算期間 2021年3月18日～2021年9月17日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

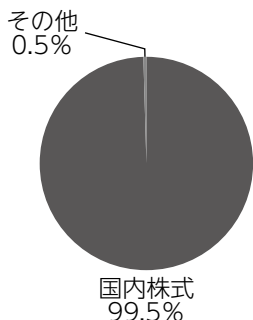
銘柄名	通貨	比率
J S R	日本・円	4.1%
ソニーグループ	日本・円	3.8
トヨタ自動車	日本・円	3.7
リクルートホールディングス	日本・円	3.5
日立製作所	日本・円	3.3
三井住友フィナンシャルグループ	日本・円	3.3
キーエンス	日本・円	3.2
富士フイルムホールディングス	日本・円	2.2
東海旅客鉄道	日本・円	2.1
デンソー	日本・円	2.1
組入銘柄数	94銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

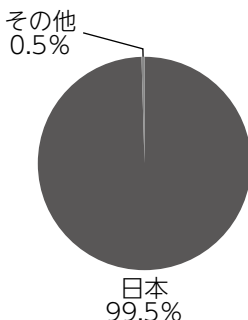
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	9円 (9)	0.024% (0.024)
合計	9	0.024

期中の平均基準価額は37,878円です。

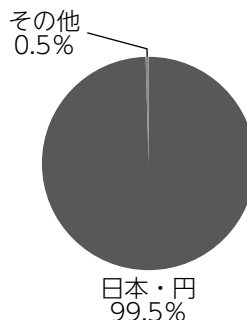
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

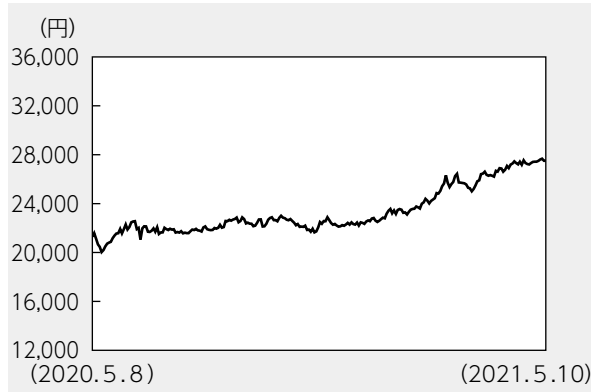
(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【J-REITオープン・アクティブ・マザーファンド】 (計算期間 2020年5月9日～2021年5月10日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

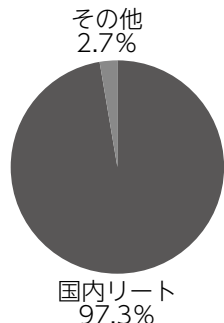
銘柄名	通貨	比率
ジャパンリアルエステイト投資法人	日本・円	7.2%
GLP投資法人	日本・円	5.6
日本プロロジスリート投資法人	日本・円	5.3
日本ビルファンド投資法人	日本・円	5.0
野村不動産マスターファンド投資法人	日本・円	4.2
日本都市ファンド投資法人	日本・円	4.1
オリックス不動産投資法人	日本・円	3.4
大和証券オフィス投資法人	日本・円	3.3
アドバンス・レジデンス投資法人	日本・円	2.7
ユナイテッド・アーバン投資法人	日本・円	2.7
組入銘柄数	52銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

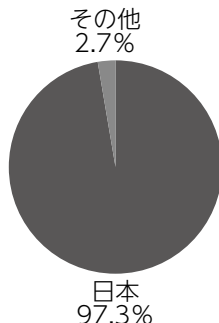
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資証券)	1円 (1)	0.006% (0.006)
合計	1	0.006

期中の平均基準価額は23,342円です。

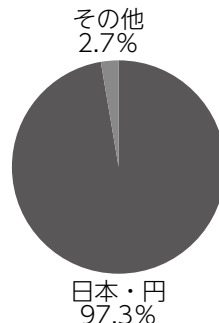
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

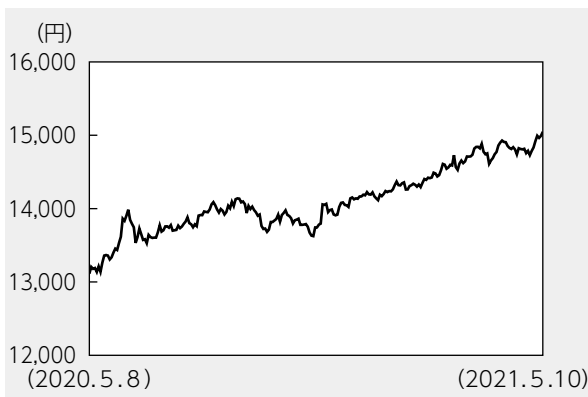
(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【高金利ソブリン・マザーファンド】（計算期間 2020年5月9日～2021年5月10日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

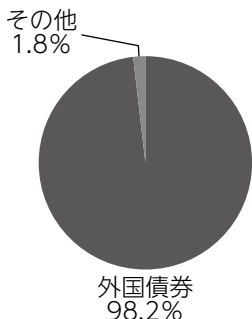
銘柄名	通貨	比率
NORWAY 1.5 02/19/26	ノルウェー・クローネ	12.1%
UK TREASURY 0.625 06/07/25	イギリス・ポンド	10.4
SINGAPORE 2.375 06/01/25	シンガポール・ドル	10.3
US T N/B 0.375 04/30/25	アメリカ・ドル	9.9
CANADA 1.25 03/01/25	カナダ・ドル	9.7
POLAND 2.5 07/25/26	ポーランド・ズロチ	9.2
THAILAND 1.45 12/17/24	タイ・バーツ	8.8
NEW ZEALAND 2.75 04/15/25	ニュージーランド・ドル	7.7
AUSTRALIAN 0.5 09/21/26	オーストラリア・ドル	5.6
MALAYSIA 3.906 07/15/26	マレーシア・リンギット	4.7
組入銘柄数	13銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

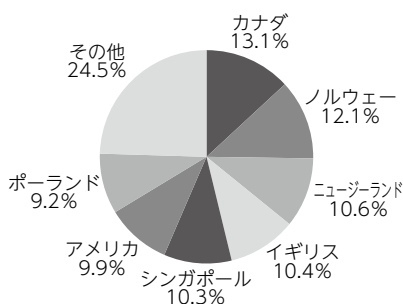
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	7円 (7) (0)	0.047% (0.047) (0.000)
合計	7	0.047

期中の平均基準価額は14,111円です。

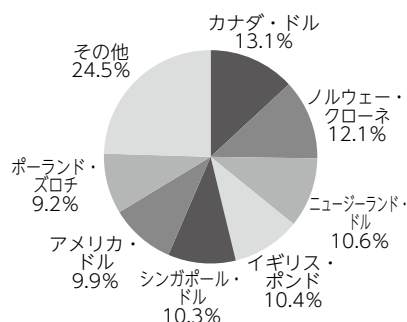
◆資産別配分



◆国別配分



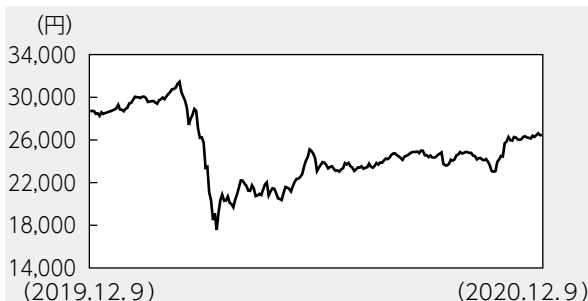
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、
 (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
 (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
 (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
 (注6) 国別配分は発行国（地域）を表示しています。
 (注7) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
 (注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド] (計算期間 2019年12月10日~2020年12月9日)

◆基準価額の推移



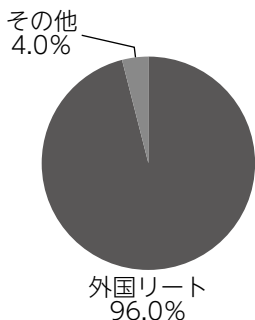
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
WAREHOUSES DE PAUW	ユーロ	6.7%
SEGRO PLC	イギリス・ポンド	6.2
LINK REIT	香港・ドル	6.0
GOODMAN PROPERTY TRUST	ニュージーランド・ドル	5.6
RIOCAN REAL ESTATE INVEST TRUST	カナダ・ドル	5.1
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTRALIA	オーストラリア・ドル	4.8
KILLAM APARTMENT REAL ESTATE INVESTMENT TRUST	カナダ・ドル	4.3
CANADIAN APT PPTYS REIT	カナダ・ドル	4.2
ALSTRIA OFFICE REIT-AG	ユーロ	4.2
MIRVAC GROUP	オーストラリア・ドル	3.8
組入銘柄数	31銘柄	

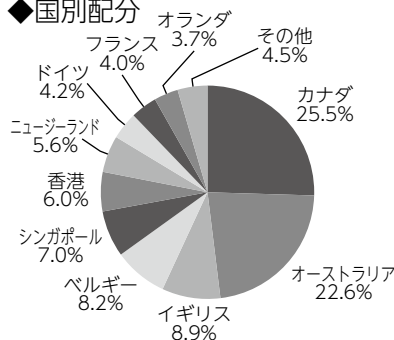
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託受益証券) (投資証券)	5円 (3) (2)	0.019% (0.012) (0.007)
(b) 有価証券取引税 (投資信託受益証券) (投資証券)	1 (1) (1)	0.005 (0.002) (0.002)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	20 (5) (14)	0.080 (0.022) (0.058)
合計	26	0.104

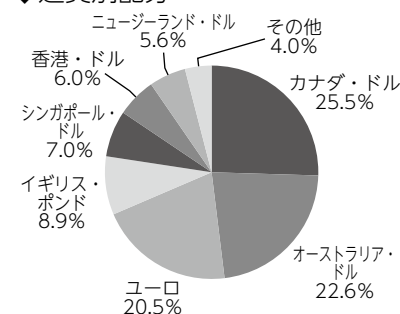
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分

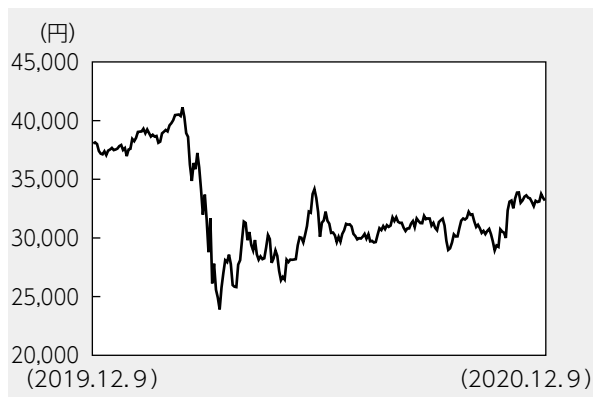


- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- (注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(24,899円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注6) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。また、上位11位以下をその他に含めて集計しています。
- (注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

[DIAM US・リート・オープン・マザーファンド]

(計算期間 2019年12月10日～2020年12月9日)

◆基準価額の推移



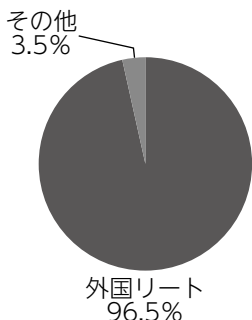
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	6.4%
EQUINIX INC	アメリカ・ドル	4.8
PUBLIC STORAGE	アメリカ・ドル	4.5
TERRENO REALTY CORP	アメリカ・ドル	4.4
REXFORD INDUSTRIAL REALTY INC	アメリカ・ドル	4.3
BRIXMOR PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	3.9
HOST HOTELS & RESORTS INC	アメリカ・ドル	3.9
WELLTOWER INC	アメリカ・ドル	3.7
ESSEX PROPERTY TRUST INC	アメリカ・ドル	3.5
HUDSON PACIFIC PROPERTIES INC	アメリカ・ドル	3.2
組入銘柄数	36銘柄	

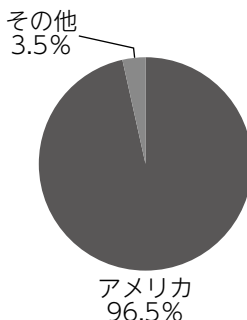
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資証券)	14円 (14)	0.044% (0.044)
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	4 (4) (0)	0.011 (0.011) (0.000)
合計	18	0.056

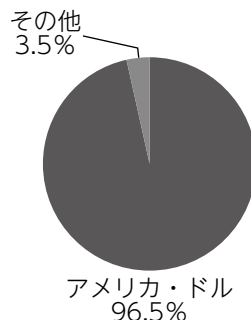
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(32,284円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

